

テーマ

鳥取の伝統的な産業と生活に根ざす居住・集落環境の保全活用  
-中山間地域の地域資源を活用した集落づくりのための基礎的研究-

発表者

兼子朋也 米子工業高等専門学校 建築学科 准教授

概要

鳥取県の中山間地の古民家や使われなくなった建築ストックを活用して、地域振興を図る方策を検討した。2008年の成果の一例として、日南町の古民家の活用方法の提案事例を紹介する。

**【事例】日南の古民家「かつみや」の活用**

■少子高齢化により中山間地の居住・集落環境の維持・保全が困難となりつつあります。伝統的な民家が漸減していくなか、風土に対応した生活や生業の中に蓄えられてきた地域固有の文化の喪失も危惧されています。■一方で、都会の人々の間には、グリーン・ツーリズムなど農村で余暇を楽しんだり、田舎体験・田舎暮らしを始めたい人が増えつつあります。■鳥取県西部の日南町には「たたら」製鉄の産地としての歴史があり、特色ある集落が少なからず存在しています。しかしながら、上記のような中山間地特有の問題を抱えています。

■日南町菅沢・古民家「かつみや」と「大宮まちづくり協議会」  
日南町菅沢の古民家「かつみや」は古くより菅沢地区の有力な地主の屋敷であり、大正2年に建設された木造2階建ての母屋は、近代の鳥取の伝統的な木造建築の特徴を今日までよく伝える建築物です。家主はこの民家と地域の財産を有効活用して、地域の活性化に貢献しようと考え、地域の「大宮まちづくり協議会」と連携して古民家活用策を検討中です。

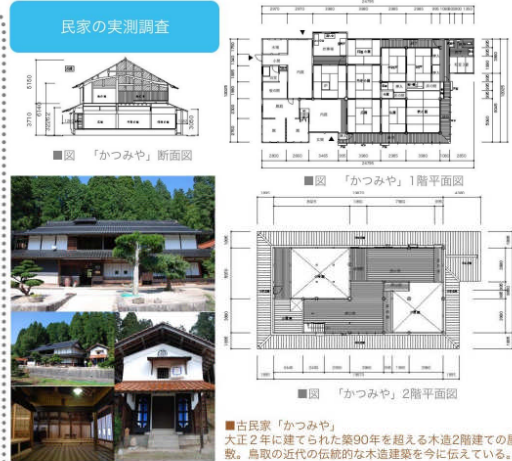
■米子高専建築学科は、この古民家の保全・活用プロジェクトのサポートを行っています。

【これまでの活動】

建築学専攻一年生が、授業「創造設計実習」において『古民家「かつみや」の活用』を課題として取り取り上げ、地域の資源を活かした活用策を提案しました。活用策の検討に当たっては以下のような活動を行いました。

- ・古民家「かつみや」の実測調査
- ・農作業体験（農家民泊シミュレーション）
- ・地域の宝探し（地域の財産探索）

民家活用策の提案



**民家の活用策の提案**

米子高専 建築学専攻 10名 (7作品)

「地場レストラン かつみや」 松本結  
「にちなん木工教室」 加藤奈津子  
「いなか暮らしのつくりかた」 藤田尚志・松本勇気  
「ホッと喫茶」 森田大貴  
「都立入・農家体験」 足立直  
「田舎を楽しまよう！」 木田成・中塚照  
「田舎体験ができる体験学習工房の家」  
川根加藤雄・南口洋樹

■提案発表会  
「古民家「かつみや」で、その活用方法を考える」  
●日時：平成19年12月15日(土) ●場所：「かつみや」  
●提案内容  
①小学校の林間学校（山間地における義務教育の拠点施設）  
②隠れた大人の憩いの場（リフレッシュ施設）  
③地元人も立ち寄れる農家（宿泊施設）  
④団体的な体験ができる民泊（宿泊施設）  
⑤高齢者のための農業体験施設  
⑥近隣地域に買ってきて地元の人にも使えるお宿スペース  
⑦季節に合わせて農事体験ができる民泊（宿泊施設）  
⑧地域の財産を活かした農産物  
⑨団体的にも利用可能な農産スペース  
●発表：大宮を歩くを協議会、協賛：米子工業高等専門学校  
●審査員：地元の人々、大宮まちづくり協議会、日南町の人々  
その他

■「ホッと喫茶」  
「古民家「かつみや」の活用」をテーマとした「ホッと喫茶」を開催し、地域の魅力を発信する。また、地域の宝探しを行い、地域の資源を活用した活用策を提案した。

■「にちなん木工教室」  
地域の木材を活用した木工教室を開催し、地域の資源を活用した活用策を提案した。

■「いなか暮らしのつくりかた」  
地域の暮らしのつくりかたを提案し、地域の資源を活用した活用策を提案した。

■「ホッと喫茶」  
地域の宝探しを行い、地域の資源を活用した活用策を提案した。

■「都立入・農家体験」  
地域の農家を体験し、地域の資源を活用した活用策を提案した。

■「田舎を楽しまよう！」  
地域の田舎を体験し、地域の資源を活用した活用策を提案した。

■「田舎体験ができる体験学習工房の家」  
地域の田舎を体験し、地域の資源を活用した活用策を提案した。

■写真 提案発表会の様子

■新聞報道  
（日本海新聞2007.12.19）  
※米子高専の学生の提案内容が取り上げられました。

連絡先：米子工業高等専門学校 建築学科 兼子 朋也  
米子市彦名町4 4 4 8 TEL. 0859-24-5178 E-mail:kaneko@yonago-k.ac.jp

分野 建築 プレゼンタイム 無